社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）　事後評価書

平成２９年　２月２４日

計画の名称	1　愛荘町における良好な水環境の形成		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	愛荘町

計画の目標

愛荘町における下水道面整備事業の早期完了を目指す。
愛荘町における下水道施設の健全度に関する点検・調査を実施しライフサイクルコストの最小化を図る。

計画の成果目標（定量的指標）

・現在の下水道処理人口普及率　98.9%（H23）から99.9%（H27）にする。
・愛荘町公共下水道における長寿命化計画策定率を0%（H23）から100%（H27）にする。

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考
	当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	（H23当初）	（H25末）	（H27末）	
平成元年から着手し、町全体を琵琶湖流域下水道の関連公共下水道事業として普及推進を図ってきているところであるが、未整備地区の早期完了を目指し整備していく。　愛荘町の下水道処理区域人口（人）/愛荘町の行政人口：20,221（人）	98.9%	99.5%	99.9%	
愛荘町公共下水道における長寿命化計画策定率（%） 長寿命化計画策定済みの管路施設（マンホールポンプ含む）（箇所）/長寿命化計画を策定すべき管路施設（マンホールポンプ含む）：5（箇所）	0%	0%	100%	

上段：計画　下段：実施

全体事業費	合計（A＋B＋C）		A		B		C		効果促進事業費の割合 C／（A＋B＋C）	
		548百万円		528百万円				20百万円		3.6%
		405百万円		394百万円				11百万円		2.7%

事　後　評　価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

愛荘町において、目標の達成状況と指標の達成状況の確認を行った。

事後評価の実施時期

平成29年2月（繰越事業完了後）

公表の方法

愛荘町ホームページにて公表する。

1．交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A1　下水道事業

上段：計画　下段：実施

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	事業及び施設種別	省略工種	要素となる事業名（事業箇所）	事業内容（延長・面積等）	市町村名	H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
1-A1-1	下水道	一般	愛荘町	直接	－	汚水	新設	東北部処理区関連　汚水管の整備	汚水管φ=300, 250, 200, 150, 75, 50　L=3.0km	愛荘町						508	
									汚水管φ=400, 300, 250, 200, 150, 75, 50　L=1.5km							394	
1-A1-3	下水道	一般	愛荘町	直接	－	汚水	新設	効率的な施設設計の見直し	施設計画の見直し	愛荘町						20	
																0	
													合計			528	
																394	

B　関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容（延長・面積等）	市町村名港湾・地区名	H23	H24	H25	H26	H27	全体事業費（百万円）	備考
												合計				

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考

C　効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費（百万円）	備考
										H23	H24	H25	H26	H27		
1-C-1	下水道	一般	愛荘町	直接	－	新設	東北部処理区関連　汚水管の整備（支線）	汚水管　φ200, 150　L=0.3km	愛荘町						20	
								汚水管　φ200　L=0.2km							11	
														合計	20	
															11	

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
1-C-1	基幹事業（1-A1-1）と接続する汚水管渠（支線）を一体的に整備することで、下水道未整備地区の早期普及促進を図る。	

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2．事業効果の発現状況、目標値の達成状況

Ⅰ定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況

・幹線および支線の汚水管の整備は進んでいるが、下流域の整備が計画どおり進まなかったため供用開始できず、下水道処理人口普及率は目標値に達しなかった。

Ⅱ定量的指標の達成状況

指標	項目	値		内容
指標①（下水道処理人口普及率）	最終目標値	99.9%	目標値と実績値に差が出た要因	当初計画時における下水道整備区域内において道路管理者および河川管理者との占用協議に必要以上の時間を要したため目標値に達しなかった。
	最終実績値	99.1%		
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
	最終実績値			
	最終目標値		目標値と実績値に差が出た要因	
	最終実績値			

Ⅲ定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）

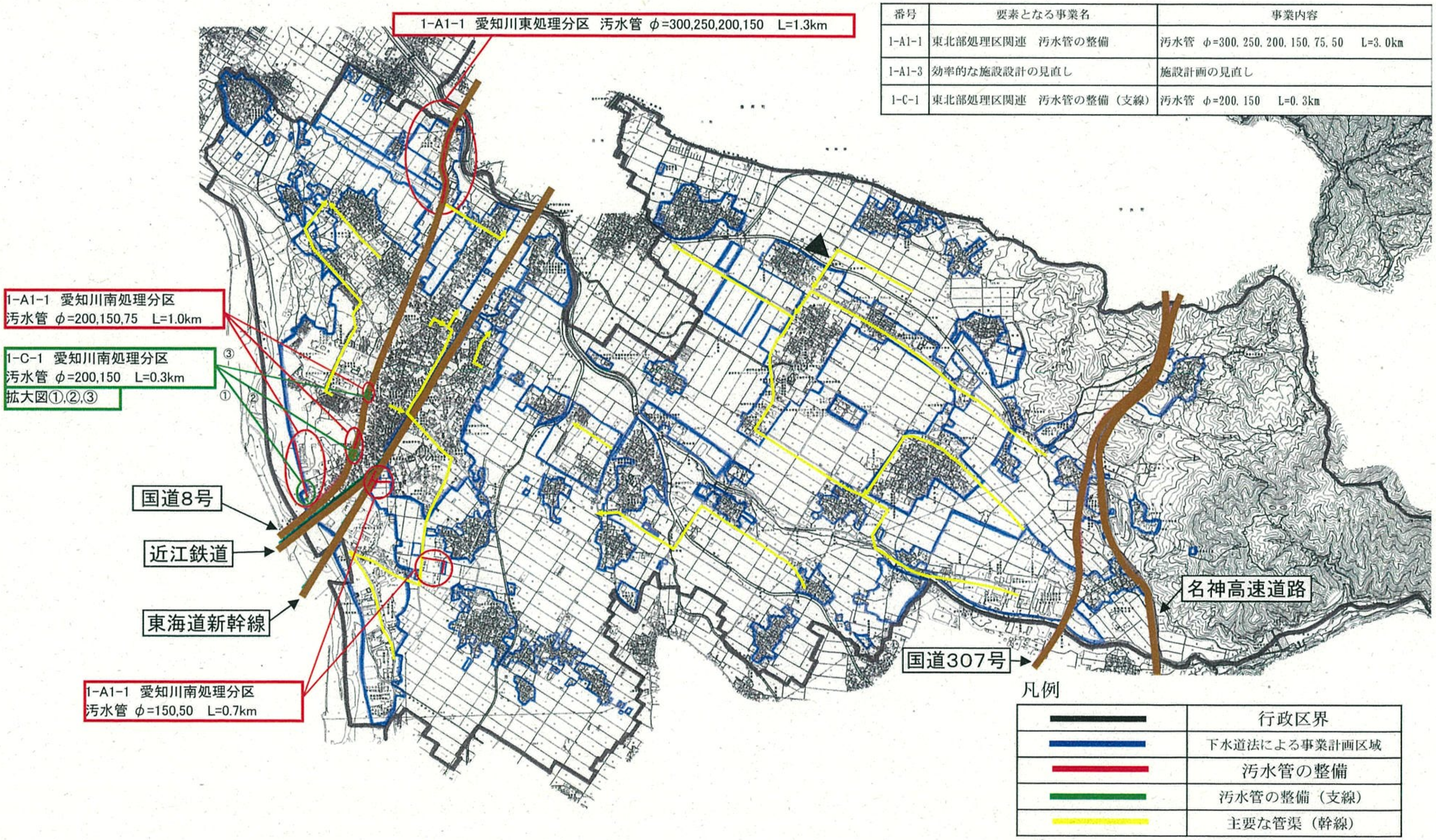
3．特記事項（今後の方針等）

下水道未整備箇所の汚水整備を行い、更なる下水道処理人口普及率の向上を図る。

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備）　事後評価書

計画の名称	1　愛荘町における良好な水環境の形成		
計画の期間	平成23年度　～　平成27年度　（5年間）	交付対象	愛荘町

番号	要素となる事業名	事業内容
1-A1-1	東北部処理区関連　汚水管の整備	汚水管　φ=300, 250, 200, 150, 75, 50　L=3.0km
1-A1-3	効率的な施設設計の見直し	施設計画の見直し
1-C-1	東北部処理区関連　汚水管の整備（支線）	汚水管　φ=200, 150　L=0.3km



水の安全・安心基盤整備

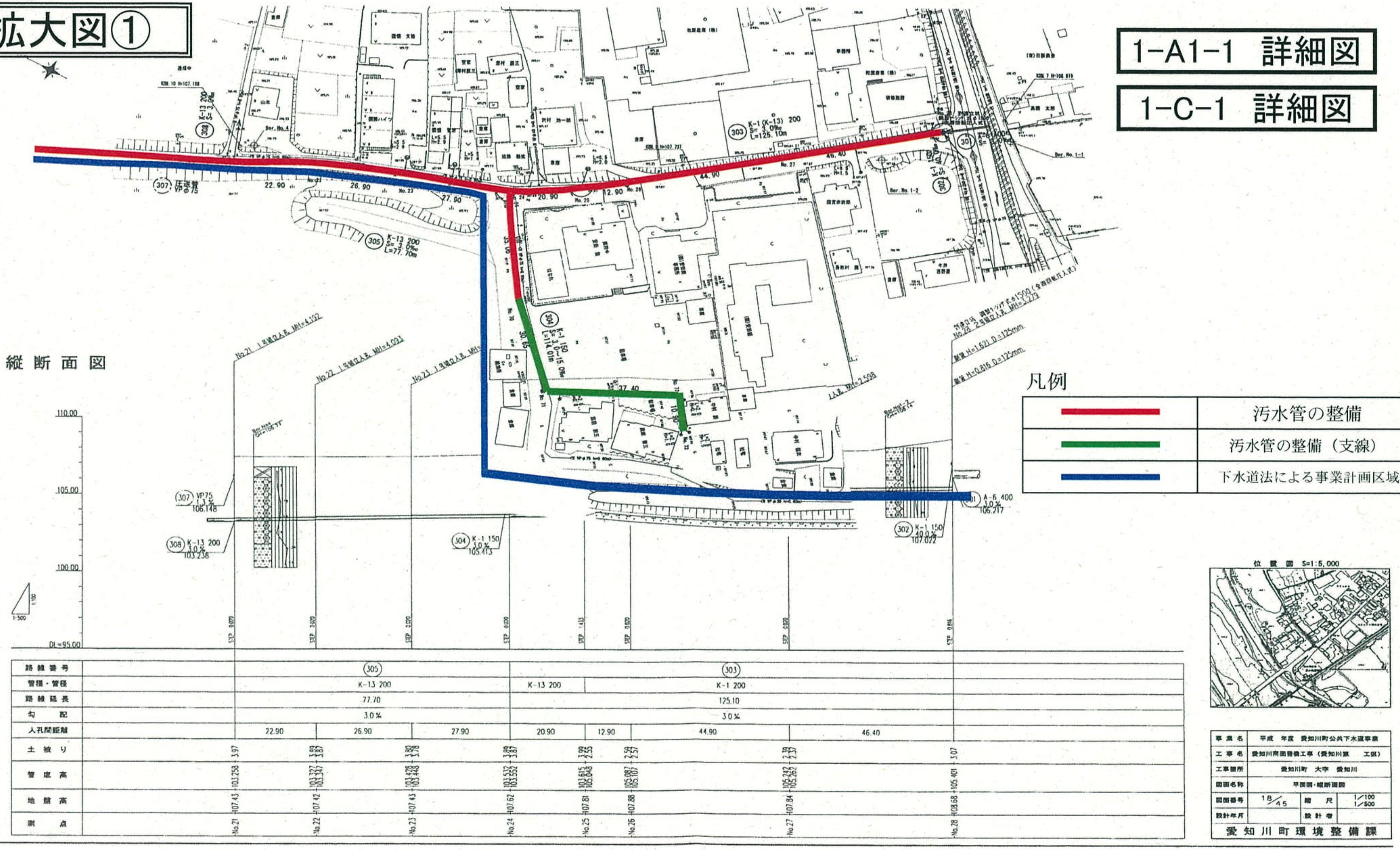
拡大図①

1-A1-1 詳細図

1-C-1 詳細図

凡例

(赤線)	汚水管の整備
(緑線)	汚水管の整備（支線）
(青線)	下水道法による事業計画区域

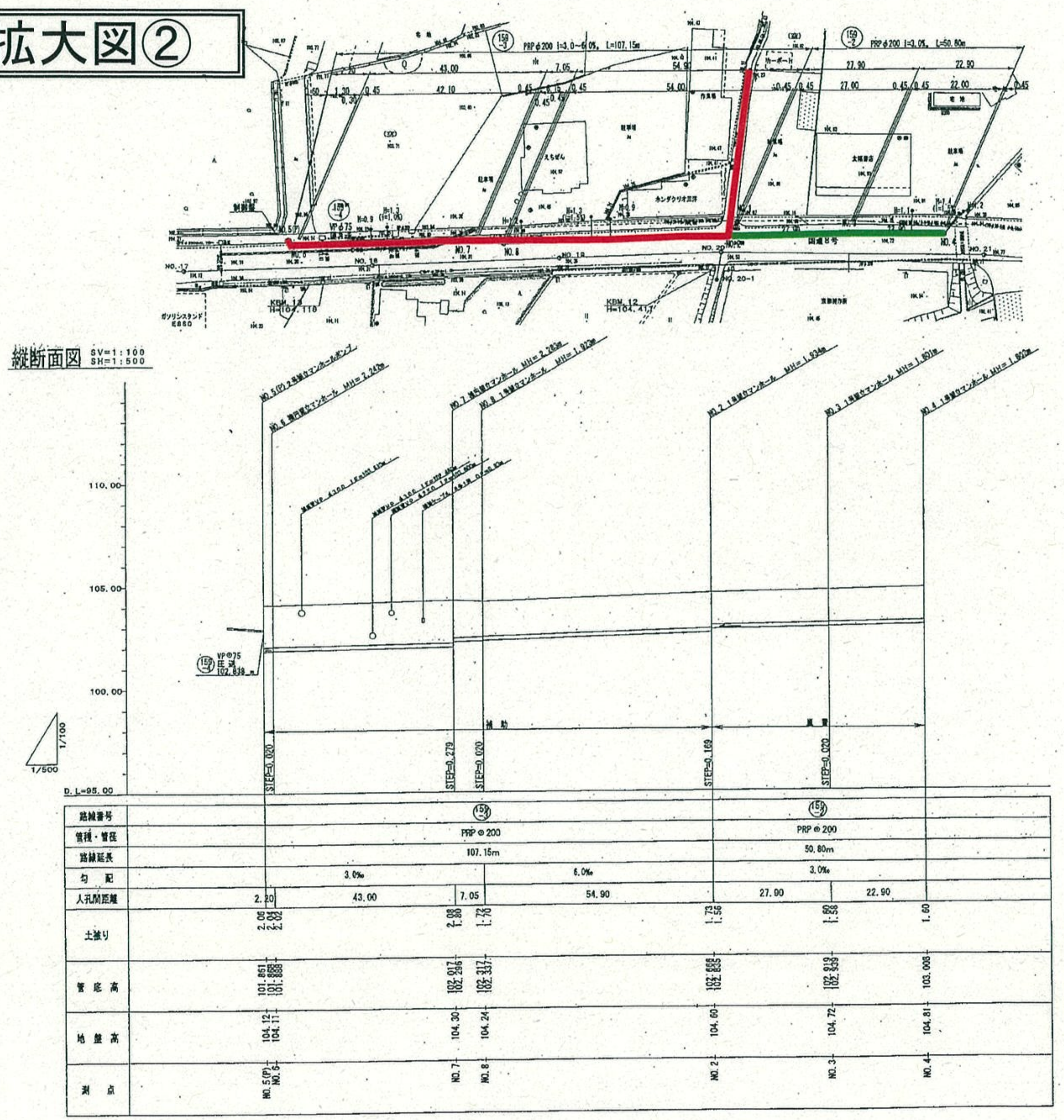


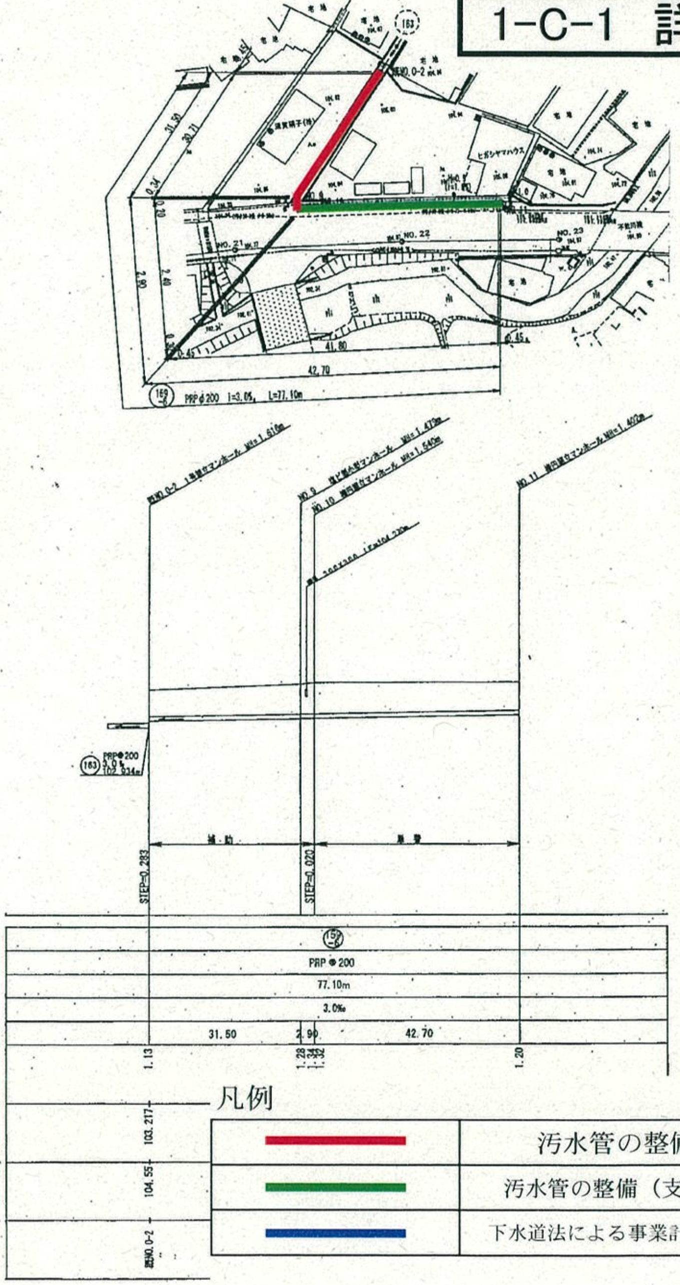
水の安全・安心基盤整備

1-A1-1 詳細図

1-C-1 詳細図

拡大図②



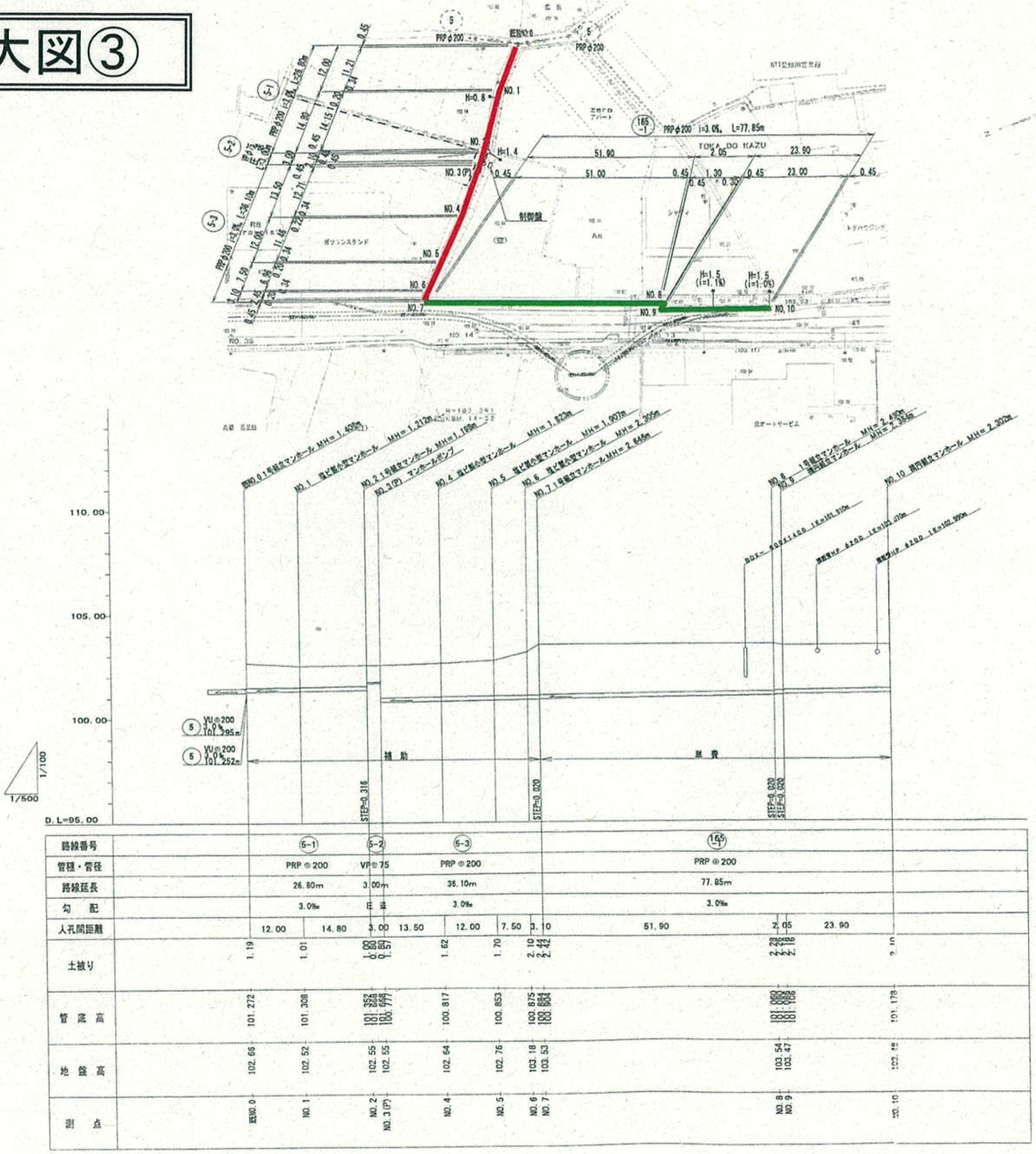


凡例

(赤線)	汚水管の整備
(緑線)	汚水管の整備（支線）
(青線)	下水道法による事業計画区域

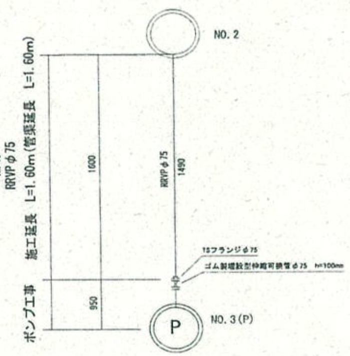
水の安全・安心基盤整備

拡大図③



1-A1-1　詳細図

配管詳細図　**1-C-1　詳細図**



凡例

赤線	汚水管の整備
緑線	汚水管の整備（支線）
青線	下水道法による事業計画区域